

「行橋市土木課におけるGISの 活用状況」

平成28年2月18日(木)

行橋市 都市整備部 土木課

南里 幸伸

1. 土木課におけるGISの活用状況

◇ 活用中の事項

- ・児童遊園の位置図

(公園の遊具点検記録等のリンクはなされていない・・・)

◇ 活用検討中の事項(現状は紙媒体を活用)

- (1)道路台帳

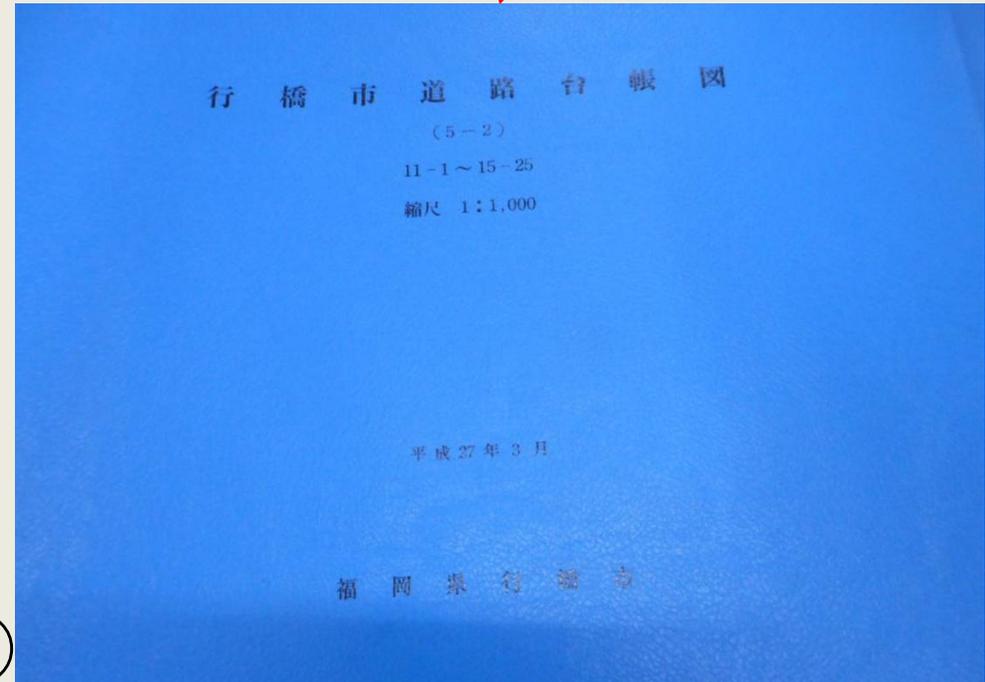
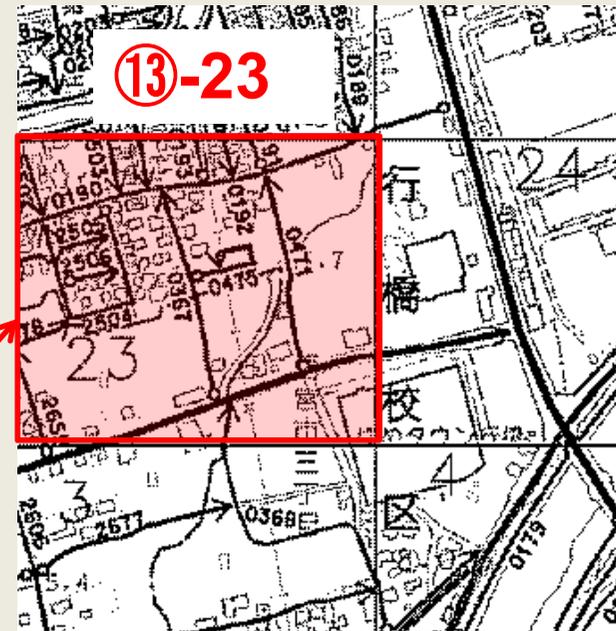
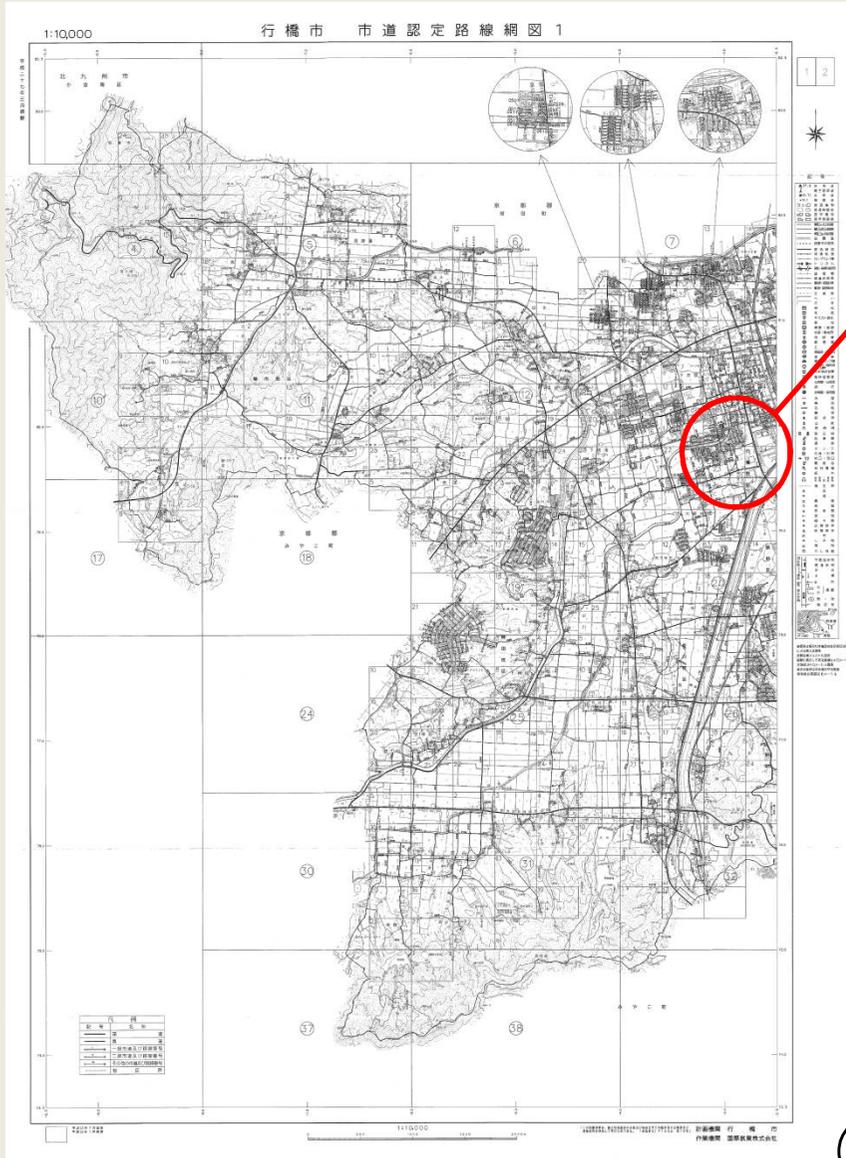
- (2)河川台帳

- (3)カーブミラー台帳

- (4)都市公園台帳 etc・・・

2. 紙媒体の現状

(1) 道路台帳



当市の台帳整備を担当している K際航業さんは……

道路台帳電子化に5000万円！！！！

行橋市の道路維持管理に関する予算は、40百万円(>_<)

※大牟田市さんが調べた資料アンケートによると……

柳川市……160百万円(行橋市と同程度の人口規模)

朝倉市……67百万円(行橋市より2万人ほど少ない)

行橋市の単独費計:100百万程度

(道路改良、河川、下排水の工事・委託・補償全て)

どうやって決裁を取れば良いでしょうか。

知恵を貸して頂けませんか？

3. 台帳電子化のメリット

- 窓口業務の負担軽減
(1日平均○人 1人当り10分→○○時間?)
- 更新料の削減?
(電子化しても同程度の更新料がかかるらしい)
- 工事発注図面作成の負担軽減
- 保管場所が無くなることによる文書管理業務の軽減
- スマートフォンと連携することにより、災害場所の管理が可能?

・
・
・

参考1. 既存GISの状況(抜粋)

- 都市計画地図情報システム(都市政策課) → ArcGIS移行(国際航業)
- 防災ハザードマップ(総務課) → ArcGIS(H25年度更改)
- 要援護者支援マップ(介護保険課・総務課) → ArcGIS
- 農地地図情報システム(農業委員会・農政課)
- 管路図(上水道課)
- 受益者負担金地図システム(下水道課) → ArcGIS移行(国際航業)
- 緊急通報指令台システム(消防署)
- 消火栓図(消防署)

参考2. 紙地図等を使っている業務(抜粋)

- 各種統計調査用マップ(総合政策課)
- 住居表示マップ(総合窓口課)
- 集会所マップ、医療機関マップ、身障手帳指定医師マップ、民生委員活動用マップ(地域福祉課)
- 防犯灯マップ、行政区マップ(市民相談室)
- ポスター掲示板設置委託業務用マップ、投票所マップ(選挙管理委員会)
- 道路台帳閲覧用マップ、カーブミラー設置マップ、緊急輸送道路マップ、児童遊園マップ、都市公園マップ、河川台帳マップ(土木課)
- 介護施設マップ、高齢者施設マップ(介護保険課)
- 遺跡及び遺跡調査管理マップ、文化財マップ(文化課)
- 通学路マップ、通学校区マップ、不審者出没危険箇所マップ、幼稚園マップ(学校教育課)
- ゴミ集積所マップ(環境課)
- 訪問活動用マップ(生活支援課)
- 観光マップ(商業観光課)

参考3. 今後の予定

- 航空写真の全庁公開。
- G-mottyに掲載地図(防災情報マップ、土砂災害警戒区域図、予定避難所等マップ)の全庁公開。
- ArcGISを使用した、紙地図使用業務のシステム化。
- Web型GISの構築(GIS用のDBを導入)
- 業務別GISデータの全庁利用。
- 自治体連携及び庁内連携GISへの取組。
- G-motty活用の促進。
- 都市計画用途図のG-motty掲載。

参考4. 今後の課題

- 全庁型GIS構築へ向けての職員の意識改革。
- 定期的なGIS活用専門部会の開催。
※部会の再編成も検討。
- 全庁で使用可能な業務地図の作成。
- ArcGIS活用の促進。
- ArcGIS使用者の育成。
- 組織横断的な地理情報（庁内連携GIS）の活用。
- アナログ（紙媒体）データのシステム化

ご清聴ありがとうございました。